

ふるさとふちゅう

再発見

【第50回】府中が農村だったころ（10）「棚田と「農士を称える碑」」（1）

前回まで、干拓を中心とした府中の耕地増加を紹介してきました。今回は、谷間に沿って作られた棚田を紹介します。限られた面積の府中では土地の活用のため、多くの棚田が作られました。残念ながら、どの棚田がいつ造られたのかを示す史料は確認できません。ただ、不便な棚田での仕事に携わった人々の苦勞を忘れないとの思いを刻んだ「農士を称える碑」という石碑があります。まずは、碑に刻まれた文字を全文掲載します。

揚倉山健康運動公園の入り口を過ぎ、大きく左カーブする道路右側に建っています。現在では想像できませんが、この碑の下は住宅地、瀬戸ハイム3・4丁目一帯には棚田が広がっていたのです。『安芸府中町史通史編』54ページには昭和35年の頃の棚田が続く写真と同じ場所の昭和53年の瀬戸ハイムが掲載されており、その変化がよく分かります。棚田での耕作はこの石碑に記されたように背負子に苗や農具を背負い、一歩一歩と細い坂道を上り、狭い棚田に一株一株と植えていく汗と土にまみれた作業だったのです。



農士を称える碑

府中町文化財保護審議会委員

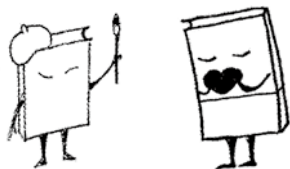
菅 信博

この石碑は県道84号線の安芸府中高校から甲越峠への坂道を登り

図書館からの
今月読むならコレ！

町立図書館 ☎286-3405

図書館職員が
選んだおすすめ
図書を紹介



そらのいろ

荒木 健太郎／文・写真・絵 金の星社／出版

はれたひのあおいそら、たいようがしずむころのこがねいろのそら。そらのいろは、どうしてかわるのかな？そらのいろのしくみをしゃしんでしょうかいしているよ。あなたの好きなそらのいろは、どれかな？

イヤイヤ期のトリセツ

ふじこせんせい／著 講談社／出版

子育てで大変なイヤイヤ期。成長の過程とはいえ何でもイヤイヤ！で、毎日くたびれ果ててしまいますよね。そんな時でも親子が楽しく過ごせるようになる声かけを、生活のあらゆる場面を例に紹介。これは試してみる価値大です。

3月の
休日診療当番医

3月2日(日)	岡原内科皮膚科クリニック(皮膚科・アレルギー科・内科)	大須1-19-19	☎561-0303
3月9日(日)	太田整形外科(整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科)	大通2-10-8	☎510-5107
3月16日(日)	白根耳鼻咽喉科(耳鼻咽喉科)	鶴江1-25-20-301	☎510-3322
3月20日(休祝)	すくすくキッズクリニック(小児科)	大通2-8-21 4階	☎286-8686
3月23日(日)	みはら内科クリニック(内科・消化器内科・循環器内科)	大通2-8-21 2階	☎286-1177
3月30日(日)	天神川なかむら内科(内科・呼吸器科・糖尿病内科)	大須1-17-22	☎890-0077
4月6日(日)	ソレイユ眼科(眼科)	大須2-1-1	☎561-0123
4月13日(日)	わたえだ皮膚科クリニック(皮膚科・アレルギー科)	浜田3-9-3	☎508-1112

府中町LINE公式アカウント
友だち募集中！

友だち追加で、
毎月1日に
広報ふちゅう
もお届け！